

平成30年 全国の自殺者数 (警察庁「自殺統計」より)

20,598 人

- 全国の交通事故での死亡者数 3,532人 (平成30年)
- 平成21年以降、減少傾向

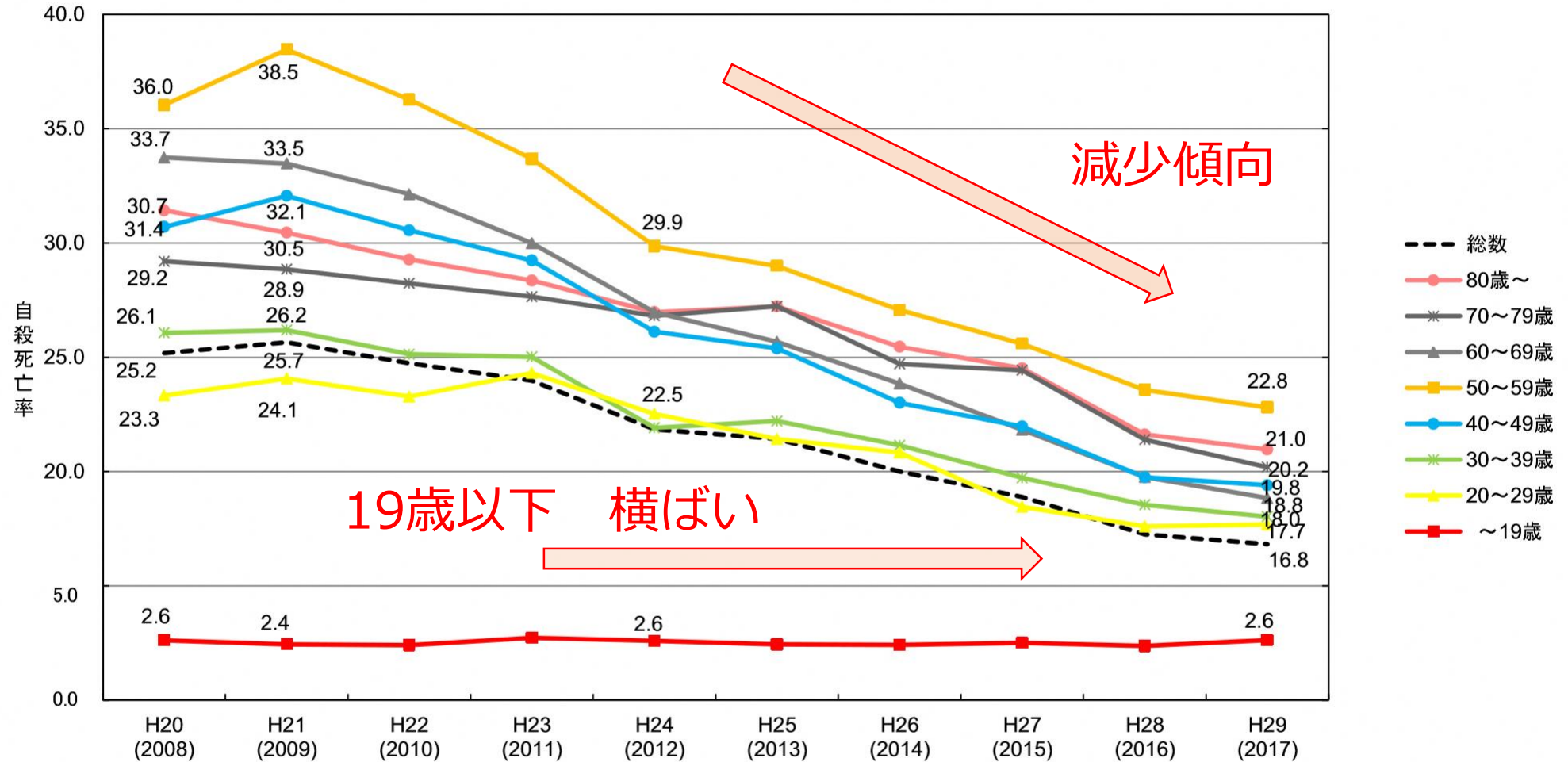
全国で

約 56

人/日

年齢階級別自殺死亡率の年次推移

○60歳代は平成19年から10年連続、40歳代及び50歳代は8年連続、30歳代、70歳代及び80歳以上は4年連続で低下した。
19歳以下及び20歳代は、前年より微増した。



注)平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。

平成29年 年齢階級別にみた主な死因の死亡割合

(厚生労働省 人口動態統計月報年計 (概数) の概況より)

	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血 圧性を除く)	脳血管疾患	肺 炎	不慮の事故	老 衰	自 殺	その他
10-14歳	22.9	4.6	3.0	0.9	11.4	0.0	22.7	34.6
15-19歳	10.8	5.3	0.9	1.1	20.2	0.0	39.4	22.3
20-24歳	8.6	4.5	0.9	0.3	16.4	0.0	52.2	17.0
25-29歳	11.8	5.8	2.2	0.4	12.5	0.0	46.0	21.2
30-34歳	18.9	7.3	3.9	0.8	8.1	0.0	39.3	21.8
35-39歳	24.1	9.0	5.8	0.9	7.3	0.0	28.9	24.0
40-44歳	30.0	11.3	9.0	0.7	6.4	0.0	18.4	24.1
45-49歳	34.0	12.6	9.3	1.0	5.1	0.0	13.3	24.7
50-54歳	38.1	12.6	8.8	1.2	4.2	0.0	9.6	25.5
55-59歳	44.3	12.3	7.3	1.5	4.0	0.0	5.9	24.6
60-64歳	47.3	12.1	7.0	2.2	3.4	0.0	3.1	24.8